

【参考資料】

大分市にある国・県・市指定等の文化財一覧

大分市にある国指定等文化財一覧

ア 重要文化財

番号	名称または物件	所在地	所有者 または 管理団体	指定年月日	摘要	参考
①	太刀	八幡	柞原八幡宮	昭和 25.8.29	銘 国宗 長さ 75.8cm	鎌倉時代
②	太刀	八幡	柞原八幡宮	昭和 25.8.29	銘 源国(以下一字並年号不明) 長さ 108cm	鎌倉時代
③	薙刀直し刀	八幡	柞原八幡宮	昭和 25.8.29	銘 表 国重八幡大菩薩 裏 天満大自在天神	鎌倉時代末期～ 南北朝時代
④	銅造仏像	八幡	柞原八幡宮	昭和 25.8.29	社伝 阿弥陀如来立像 金剛仏 重さ 11.25kg 像高 30.3cm	白鳳時代
⑤	木造普賢延命 菩薩坐像	八幡	大山寺	昭和 50.6.12	榧材 像高 87.7cm	平安時代
⑥	後藤家住宅	柞ヶ原	個人所有	昭和 50.6.23	18 世紀中頃の庄屋の母屋 寄棟造 茅葺	江戸時代
⑦	白壇塗浅葱糸威腹巻 兜・大袖・小具足付	八幡	柞原八幡宮	昭和 55.6.6	胴高 32.3cm 草摺高 28.5cm 兜鉢高 18.0cm	室町時代末期
⑧	木造大日如来坐像	上野丘	金剛宝戒寺	平成 3.6.21	文保 2 年(1318)康俊作 檜材寄木造 像高 303.8cm	鎌倉時代
⑨	柞原八幡宮文書	八幡	柞原八幡宮	平成 3.6.21	柞原宮領関係史料(213 通) 元和 7 年	平安時代～ 江戸時代
⑩	帆足家伝来 田能村竹田関係資料	大分市 美術館	大分市	平成 6.6.28	紙本墨画淡彩花卉図外 25 点	江戸時代
⑪	柞原八幡宮	八幡	柞原八幡宮	平成 23.6.20	本殿・東宝殿・西宝殿・申殿・拝殿・楼門・東 回廊・西回廊・西門・南大門の 10 棟	江戸～明治時代
⑫	大分県府内大友氏 遺跡出土品	大分県立 埋蔵文化財 センター	大分県	令和 1.7.23	大友氏居館周辺の町屋や寺院跡での出土 品計 1269 点。中国や朝鮮半島、東南アジ ア産の陶磁器、キリスト教に関わるメダイ、ガ ラス製のコンタ。	戦国時代
⑬	紙本淡彩稲川舟遊図	大分県立 美術館	大分県	昭和 37.6.21	田能村竹田筆 文政 12 年(1829)の作。	江戸時代
⑭	絹本着色歳寒三友雙 鶴図	大分県立 美術館	大分県	昭和 38.7.1	田能村竹田筆 天保 3 年(1832)頼山陽 雲華 角田九華の賛がある。屈曲する梅の 幹の下に双鶴を配し、椿竹を添える。	江戸時代

イ 史跡

番号	名称または物件	所在地	所有者 または 管理団体	指定年月日	摘要	参考
⑮	豊後国分寺跡	国分	大分市	昭和 8.2.28	国分僧寺 追加指定(昭和 58.9.8 昭和 61.5.28)	奈良時代
⑯	大分元町石仏	元町	大分市	昭和 9.1.22	日羅または仁間の作と伝えられる 保存修理 昭和 46・52・53・61 年以降	平安時代
⑰	高瀬石仏	高瀬	大分市	昭和 9.1.22	石窟を彫り込み奥壁に東を向いて彫られる	平安～鎌倉時代
⑱	千代丸古墳	宮苑	大分市	昭和 9.5.1	装飾古墳 横穴式石室	古墳時代後期
⑲	築山古墳	本神崎	八幡神社	昭和 11.9.3	前方後円墳 箱式石棺	古墳時代中期
⑳	古宮古墳	三芳	大分市	昭和 58.5.11	石棺式石室墳 九州では他に例なし	古墳時代終末期
㉑	亀塚古墳	里	大分市	平成 8.3.28	前方後円墳 全長約 116m	古墳時代中期
㉒	大友氏遺跡	頭徳	大分市	平成 13.8.13	九州 6 国を支配した大友宗麟を全盛期とする 戦国大名・大友氏の拠点方 2 町(200m 四 方)の大友氏館跡、旧万寿寺跡・御蔵場・上 原館からなる	戦国時代
㉓	横尾貝塚	横尾	大分市	平成 21.2.12	縄文時代の集落の移り変わりが復元できる 縄文時代からの地形と自然がよく残されて いる	縄文時代

ウ 天然記念物

番号	名称または物件	所在地	所有者 または 管理団体	指定年月日	摘要	参考
㉔	柞原八幡宮のクス	八幡	柞原八幡宮	大正 11.3.8	自生のクス 樹高約 30m 幹囲約 18.5m	
㉕	高崎山のサル生息地	神崎	大分市	昭和 28.11.14	都市近郊における日本猿の自然的集団	

エ 記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財

番号	名称または物件	所在地	所有者 または 管理団体	指定年月日	摘要	参考
㉖	鶴崎踊	鶴崎	鶴崎おどり 保存会	昭和 61.12.17	記録保存の措置を講ずべきものとして選択	県選 択 市 指 定

オ 登録有形文化財

番号	名称または物件	所在地	所有者 または 管理団体	指定年月日	摘要	参考
㉗	大分銀行赤レンガ館 (旧二十三銀行本店・ 旧府内会館)	府内町	(株)大分銀行	平成 8.12.20	鉄筋コンクリート造 2 階建 スレート及び瓦棒葺	大正 2 年(1913)
㉘	太田缶詰工場主屋	白木	(株)秀観	平成 11.6.7	木造 2 階建 寄棟造 洋風の玄関特徴 接客用 座敷や和室の居住部分と工場事務室併設	明治 39 年(1908)
㉙	太田缶詰工場土蔵	白木	(株)秀観	平成 11.6.7	切妻造の 2 階建て 外壁漆喰仕上げ	明治 39 年(1908)
㉚	太田缶詰工場石倉	白木	(株)秀観	平成 11.6.7	外壁周りを石造 軒周り漆喰仕上げ 正面左右に 2 つ出入り口があるのが特徴	大正時代
㉛	荻本家住宅主屋	坂ノ市	個人所有	平成 17.7.12	木造平屋建て一部 2 階建 瓦葺 建築面積 244 m ²	江戸時代末期
㉜	帆足家分家住宅 「松石不老館」主屋	中戸次	個人所有	平成 17.11.10	入母屋造 棧瓦葺 木造 2 階建 通り土間をもつ商家建築の形式	明治 39 年(1908)
㉝	帆足家分家住宅 「松石不老館」新座敷	中戸次	個人所有	平成 17.11.10	寄棟造 棧瓦葺 木造平屋建 南側に広縁をとり中庭を望む 門及び塀は棧瓦屋根	明治時代中期
㉞	帆足家分家住宅 「松石不老館」道具蔵	中戸次	個人所有	平成 17.11.10	切妻造 棧瓦葺 土蔵造 2 階建 切石積み の上に建つ 海鼠壁	明治時代中期
㉟	帆足家分家住宅 「松石不老館」質蔵	中戸次	個人所有	平成 17.11.10	切妻造 棧瓦葺 土蔵造 2 階建 切石積みの上に建つ 海鼠壁 棧瓦屋根の板塀及び門	明治時代中期
㊱	帆足家分家住宅 「松石不老館」 湯殿及び風呂	中戸次	個人所有	平成 17.11.10	湯殿を南北棟 風呂を東西棟とし、両棟が 接して建つ 寄棟及び入母屋の屋根 共に棧瓦葺	明治時代中期
㊲	帆足家分家住宅 「松石不老館」 井戸上屋	中戸次	個人所有	平成 17.11.10	切石積みの基壇の上に四方に柱を立て 切妻造 棧瓦葺 切石を長方形の井桁に組む	明治時代中期
㊳	帆足家分家住宅 「松石不老館」穀物蔵	中戸次	個人所有	平成 17.11.10	切妻造、棧瓦葺、土蔵造 2 階建 引戸口 2 箇所 全長に吹き放ちの下屋 切石積みの上に建つ	明治 22 年(1889)
㊴	帆足家分家住宅 「松石不老館」味噌蔵	中戸次	個人所有	平成 17.11.10	切妻造 棧瓦葺 木造平屋建 下屋北側 2 間半を壁で囲む 切石積みの上に建つ	明治 22 年(1889)
㊵	帆足家分家住宅 「松石不老館」裏二階	中戸次	個人所有	平成 17.11.10	寄棟 棧瓦葺 木造 2 階建 裏木戸中央に 1 間幅の観音開きの木戸口	明治時代中期
㊶	帆足家分家住宅 「松石不老館」門	中戸次	個人所有	平成 17.11.10	間口は 2.7m、棟門の形式 棧瓦葺、木造 両脇に塀を続け、 門脇に潜戸を設ける	明治時代中期
㊷	帆足家分家住宅 「松石不老館」塀	中戸次	個人所有	平成 17.11.10	切石積みの上に建ち、腰を下見板張り 上部を真壁造 漆喰塗り 2 箇所格子窓 棧瓦葺屋根	明治時代中期
㊸	帆足家本家住宅 「富春館」主屋	中戸次	個人所有	平成 18.11.29	木造 2 階建 一部平屋 入母屋造 棧瓦葺 南側中央式台玄関を設け、西側に一段高 い座敷	慶応元年(1865)
㊹	帆足家本家住宅 「富春館」宝蔵	中戸次	個人所有	平成 18.11.29	土蔵造 2 階建 切妻造 棧瓦葺 1 階 2 室 2 階 1 室 外壁漆喰ぬり 腰を海鼠壁	大正時代

番号	名称または物件	所在地	所有者 または 管理団体	指定年月日	摘要	参考
④5	帆足家本家住宅 「富春館」質蔵	中戸次	個人所有	平成 18.11.29	土蔵造 2 階建 切妻造 棧瓦葺 1 階 2 室 2 階 1 室 外壁漆喰ぬり 腰を海鼠壁	大正 5 年(1916)頃
④6	帆足家本家住宅 「富春館」洋館	中戸次	個人所有	平成 18.11.29	木造 2 階建 寄棟造 棧瓦葺 南側に洋室 東側に店舗を付属 モルタル壁 石造風	大正 5 年(1916)
④7	帆足家本家住宅 「富春館」離れ	中戸次	個人所有	平成 18.11.29	木造平屋建 寄棟造 棧瓦葺 南側に廊下 北側中央に 8 畳座敷 書院風のつくり	昭和 12 年(1937)
④8	帆足家本家住宅 「富春館」表門	中戸次	個人所有	平成 18.11.29	質蔵と洋館の間に建つ 2 間幅の棟門 木造 切妻造 棧瓦葺 両脇に袖塀	江戸時代末期
④9	帆足家本家住宅 「富春館」中門	中戸次	個人所有	平成 18.11.29	主屋式台玄関の西側 間口 1 間 木造腕木門 切妻造 棧瓦葺 両脇に袖壁	江戸時代末期
⑤0	帆足家本家住宅 「富春館」塀	中戸次	個人所有	平成 18.11.29	主屋南側の庭の南側と西側を囲い、質蔵北西 隅から宝蔵南まで延びる 南東隅に腕木門	大正時代
⑤1	浄土寺本堂	王子西町	浄土寺	平成 20.10.23	木造平屋建 入母屋造 本瓦葺 大規模な 7 間堂	嘉永 2 年(1849)
⑤2	浄土寺庫裏	王子西町	浄土寺	平成 20.10.23	木造 2 階建 寄棟造妻入棧瓦葺 床つきの座敷・奥座敷	江戸時代後期・ 末期改修
⑤3	浄土寺玄関及び 渡廊下	王子西町	浄土寺	平成 20.10.23	木造平屋建 本堂と庫裏を繋ぐ 入母屋屋 根の玄関	江戸時代末期
⑤4	浄土寺大弁財天石宮	王子西町	浄土寺	平成 20.10.23	石造 庫裏の西北 庭園内に建つ 一間社 流造	明治 44 年(1911)
⑤5	浄土寺一伯公廟	王子西町	浄土寺	平成 20.10.23	木造平屋建 入母屋造妻入棧瓦葺 松平 忠直の墓碑を安置する	江戸時代後期 大正 14 年・昭和 49 年移築
⑤6	浄土寺表門	王子西町	浄土寺	平成 20.10.23	木造 左右袖塀付 本堂正面に建つ四脚門	明治時代後期 昭和 26 年改修・ 49 年移築
⑤7	浄土寺北門	王子西町	浄土寺	平成 20.10.23	木造 瓦葺 柱上に皿斗を置き、その上に 台輪をまわす	大正 14 年(1925) 昭和 49 年移築
⑤8	植木家住宅主屋	王子中町	個人所有	平成 22.5.20	木造 2 階建入母屋造 1 階に出格子彫刻入 持送り 市内中心部に残る数少ない商家	安政元年(1854)頃
⑤9	植木家住宅離れ	王子西町	浄土寺	平成 20.10.23	入母屋造棧瓦葺 床・違棚・書院を構え意 匠に凝る	昭和 4 年(1929)
⑥0	植木家住宅離れ 控えの間	王子西町	浄土寺	平成 20.10.23	庇の意匠が数寄屋風 渡り廊下が付随する	昭和 4 年(1929)
⑥1	旧豊予要塞司令官 官舎	佐賀関	個人所有	平成 30.11.2	大正 15 年(1926)に発足した豊予要塞の司 令官官舎 大正 14 年(1925)から大正 15 年 (1926)頃の建築で、洋風の暖炉のある応接 間がある	大正 14 年(1925) ～ 15 年(1926)頃

大分市にある県指定文化財一覧

ア 重要文化財

番号	名称または物件	所在地	所有者 または 管理団体	指定年月日	摘要	参考
①	柞原八幡宮文書 附絵図	八幡	柞原八幡宮	昭和 35. 3. 22	絵図のみ	江戸時代
②	八幡宇佐宮 御託宣集附裏書	八幡	柞原八幡宮	昭和 35. 3. 22	宇佐神宮に関する記録 16 巻と裏書 2 からなる 文明 2 年 (1470)	室町時代
③	詫摩文書	大分市 歴史資料館	個人所有	昭和 35. 3. 22	合計 11 巻 286 点の文書 嘉応元年 (1169) ～慶長 16 年 (1611)	平安時代末期～ 江戸時代初期
④	都甲文書	大分県立 先哲史料館	個人所有	昭和 35. 3. 22	合計 4 巻 90 通	平安～江戸時代
⑤	須恵器	大分県立 埋蔵文化財 センター	国東市	昭 41. 3. 22	国東市安岐町の築山古墳から出土した須恵器の壺ならびに器台である。総高 48.5 cm。	古墳時代
⑥	刀	森	個人所有	昭和 43. 3. 29	豊州高田庄 藤原行長 慶長 5 年 (1600)	戦国時代
⑦	刀	田尻	個人所有	昭和 40. 3. 9	銘 貞行 応永時代	室町時代前半
⑧	刀	高松東	個人所有	昭和 43. 3. 29	銘 平鎮教 長さ 81. 6cm 永禄年間	戦国時代
⑨	木造不動明王坐像	上野丘	金剛宝戒寺	昭和 44. 3. 22	檜材 寄木造 像高 86. 3cm	平安時代後期
⑩	木造不動明王立像	八幡	柞原八幡宮	昭和 45. 3. 31	檜材 寄木造 像高 78. 8cm	鎌倉時代末期～ 南北朝時代初期
⑪	木造女神形坐像	八幡	柞原八幡宮	昭和 45. 3. 31	樟材 一木造 像高 39. 5cm	平安時代後期
⑫	木造菩薩形坐像	八幡	柞原八幡宮	昭和 45. 3. 31	樟材 一木造 像高 46. 6cm	〃
⑬	木造祖師形坐像	八幡	柞原八幡宮	昭和 45. 3. 31	樟材 一木造 像高 54. 8cm	平安時代末期
⑭	板彫多聞天立像	八幡	柞原八幡宮	昭和 45. 3. 31	樟材 一木造 像高 78. 4cm	鎌倉時代
⑮	板彫不動明王立像	八幡	柞原八幡宮	昭和 45. 3. 31	樟材 一木造 像高 76. 9cm	〃
⑯	紙本著色由原八幡宮 縁起絵巻附極書二通	八幡	柞原八幡宮	昭和 45. 3. 31	絵 土佐光茂 詞 青蓮院宮尊鎮法親王	室町時代
⑰	紺紙金泥増埵阿含経	八幡	柞原八幡宮	昭和 45. 3. 31	11 紙 縦 34cm 横 64. 2cm 文和 4 年 (1355) に尼法忍により施入	平安時代末期
⑱	山水蒔絵縁起絵巻 納箱	八幡	柞原八幡宮	昭和 45. 3. 31	銘 元和八年 (1622) 中川秀征 (岡藩 2 代藩主) 寄進	江戸時代初期
⑲	紙本著色厩図 六曲屏風一双	上野丘	円寿寺	昭和 46. 3. 23	土佐派の画風春隻と秋隻 (各) 150. 0×52. 5cm	江戸時代中期
⑳	絹本著色柿本人磨図	上野丘	円寿寺	昭和 46. 3. 23	土佐信実筆の墨書あり 縦 34. 5cm 横 37. 5cm	鎌倉時代後期
㉑	紙本著色風俗画	大分県立 美術館	宗玄寺	昭和 53. 3. 31	大分県杵築市宗玄寺所有 大分県立美術館 寄託	
㉒	安藤家刀	横尾	個人所有	昭和 54. 5. 15	銘 豊州高田住大和太極藤原貞行 平成 16. 6. 21 所有者変更による	
㉓	中間石幢	志津留	共有	昭和 55. 4. 8	造立者の墨書銘あり 応永 6 年 (1399) 造立	室町時代
㉔	万年橋	寒田	西寒多神社	昭和 55. 4. 8	文久 2 年 (1862) 建造 (西寒多神社境内)	江戸時代
㉕	金剛宝戒寺 木造釈迦如来立像	上野丘	金剛宝戒寺	昭和 57. 3. 30	檜材 寄木造 像高 161. 6cm	鎌倉時代
㉖	豊後国諸検地帳	大分県立 先哲史料館	大分県	昭和 57. 3. 30	文禄 2 年 (1593) 7 冊 他全 82 冊 平成 9 年大分県立先哲資料館	安土桃山～ 江戸時代初期
㉗	太刀	坂ノ市	個人所有	昭和 63. 3. 15	銘 豊州之住人直宗作 応永十八年 (1411) 〇月十五日	室町時代
㉘	木造聖徳太子立像	上野丘	金剛宝戒寺	平成 9. 3. 25	檜材 寄木造 像高 68cm	鎌倉時代後期～ 南北朝時代
㉙	刀	大道町	個人所有	平成 10. 3. 20	豊後国高田住藤原實行作	江戸時代

番号	名称または物件	所在地	所有者 または 管理団体	指定年月日	摘要	参考
③⑩	脇差	大道町	個人所有	平成 10. 3. 20	豊後国高田住藤原實行作	江戸時代
③⑪	築山古墳出土品	本神崎	築山古墳 保存会	平成 10. 3. 20	築山古墳出土品一括	古墳時代
③⑫	絹本着色阿弥陀如来 迎図	森町	専想寺	平成 11. 3. 23	1 幅	室町時代
③⑬	木造阿弥陀如来立像	森町	専想寺	平成 11. 3. 23	1 軀	鎌倉時代
③⑭	巴形銅器	埋蔵文化財 センター	大分県	平成 11. 3. 23	考古資料	弥生時代
③⑮	教尊寺 (7 棟)	本神崎	教尊寺	平成 11. 3. 23	本堂・庫裡付玄関・書院・御殿・経蔵・鐘 楼・山門	江戸時代
③⑯	絹本着色中川家歴代 藩主画像	大分県立 美術館	西光寺	平成 12. 3. 24	大分県竹田市西光寺所有 大分県立美術 館 寄託	江戸時代
③⑰	刀 (平長盛)	常行	個人所有	平成 13. 4. 3	銘 平長盛 (豊後刀の作風強く残す)	室町時代
③⑱	刀 (平長盛)	森町	個人所有	平成 13. 4. 3	銘文 平 長盛 平成 19. 7. 24 所有者 変更で白杵市より	室町時代
③⑲	木造聖観音菩薩坐像	八幡	大山寺	平成 14. 3. 29	樟材 一木造 像高 273. 5cm	平安時代
④⑩	木造十一面 観音菩薩立像	永興	臨濟寺	平成 14. 3. 29	桧材 寄木造 像高 170cm 平成 18. 5. 18 所有者変更	平安時代
④⑪	早吸日女神社総門	佐賀関	早吸日女 神社	平成 16. 3. 30	切妻造 本瓦葺	江戸時代
④⑫	早吸日女神社本殿	佐賀関	早吸日女 神社	平成 16. 3. 30	三間社流造 檜皮葺	江戸時代
④⑬	早吸日女神社社家 (小野家住宅)	佐賀関	早吸日女 神社	平成 16. 3. 30	入母屋造 棧瓦葺	江戸時代
④⑭	長湯横穴墓群第 7 号 墓出土品	埋蔵文化財 センター	大分県	平成 17. 3. 29	鹿角製刀装具装着鉄刀 他 計 28 点	古墳時代後期
④⑮	木造地藏菩薩立像 (愛宕地藏)	青石	妙蔵寺 保存会	平成 17. 3. 30	像高 81. 5cm 材質檜 寄木造 彫眼 漆 箔が施されている	鎌倉時代
④⑯	絹本着色涅槃図	上野丘	金剛宝戒寺	平成 18. 3. 31	縦 212. 3cm 横 214. 5cm	鎌倉時代
④⑰	木造聖徳太子 二歳立像	勢家町	法専寺	平成 18. 3. 31	桧材寄木造 玉眼 像高 68. 2cm	鎌倉時代
④⑱	銅造如来立像	上野丘	金剛宝戒寺	平成 19. 3. 30	総高 16. 3cm 像高 15. 1cm 銅鑄造製 鍍 金あり	飛鳥～白鳳時代
④⑲	大志生木宝篋印塔	十谷	西岡神社	平成 21. 3. 17	銘 應安六年(1373) 「塔供養」と刻まれ ている 平成 21 年大分市指定から県指定へ	南北朝時代
⑤⑩	王ノ瀬石棺	大分市海部 古墳資料館	共有	平成 24. 3. 13	家形石棺 辻古墳の主体部が王ノ瀬石棺 だった可能性が高い	古墳時代中期
⑤⑪	先哲史料館 稲葉家文書	大分県立 先哲史料館	大分県	平成 26. 2. 14	白杵藩主稲葉家に伝えられた文書	江戸時代
⑤⑫	猪野遺跡出土銅矛	大分市 歴史資料館	大分市	平成 28. 2. 23	弥生中期末から後期初頭にかけて制作さ れたと思われる中広形銅矛	弥生時代中期～ 後期
⑤⑬	木造釈迦如来坐像	松岡	長興寺	平成 28. 2. 23	鎌倉時代から南北朝時代にかけて、慶派 仏師の作と考えられる	鎌倉時代末期～ 南北朝時代初期
⑤⑭	佐知遺跡 17 遺構出土 品	大分県立 埋蔵文化財 センター	大分県	平成 28. 2. 23	中津市三光佐知遺跡から出土した遺物。 男性を埋葬した墓で、太刀、鉄製矢じり等 46 点。	鎌倉時代
⑤⑮	龍頭遺跡出土編袋	大分県立 埋蔵文化財 センター	大分県	平成 28. 2. 23	杵築市山香町野原 龍頭遺跡より出土。 ツル植物で編まれた袋。当時の技法がわ かる。	縄文時代後期
⑤⑯	高野山本覚院文書	大分県立 先哲史料館	大分県	平成 29. 3. 7	大友氏およびその家臣、近世大名にかか る書簡等 1946 点の文書が残されている	中世～近代
⑤⑰	一方平 I 遺跡出土 石器群	埋蔵文化財 センター	大分県	平成 29. 3. 7	大分市横尾字一方平から出土した石器群 石器製作技術の全工程が復元できる資料	旧石器時代後期
⑤⑱	東田室遺跡出土 絵画土器	埋蔵文化財 センター	大分県	平成 29. 3. 7	大分市田室町古墳時代の堅穴住居跡から 出土 龍文のひれ部分が描かれた絵画文様	古墳時代 中期前半

番号	名称または物件	所在地	所有者 または 管理団体	指定年月日	摘要	参考
⑤9	絹本著色隠元・木庵・ 即非三幅対像	田室町	長福寺	平成 30. 2. 6	黄檗宗三禅師肖像画 寛文元年(1661)制作	江戸時代
⑥0	四日市遺跡出土 木簡墓出土品	埋蔵文化財 センター	大分県	平成 30. 2. 6	「青磁唾壺」「隅入宝鏡」等の出土 被葬者は大宰府に關係する玖珠郡の官人と 考えられる	平安時代
⑥1	田尻家文書 附仏像 二軀・鏡一面	大分県立 先哲史料館	大分県	令和 2. 2. 25	田尻家は太友氏 4 代目親時の孫を祖先と しており、豊後国と肥後国に配属された。 国境地帯の動向を知る貴重な文書	室町時代～ 江戸時代

イ 史跡

番号	名称または物件	所在地	所有者 または 管理団体	指定年月日	摘要	参考
⑥2	丑殿古墳	賀来	丑殿神社	昭和 30. 5. 28	横穴式石室 家形石棺(昭和 47 年保存施設)	古墳時代後期
⑥3	脇蘭室墓	鶴崎	大分市	昭和 32. 3. 26	墓碑 表面に高弟帆足萬里による「文教 脇先生墓」の 6 字	江戸時代
⑥4	楠木生石造五重塔	下戸次	個人所有	昭和 34. 3. 20	銘 延文五年(1360) 庚子三月十七日	南北朝時代
⑥5	府内城跡	大手町 荷揚町	大分市	昭和 38. 2. 15	石垣 土塀 堀 櫓 2 櫓跡 1	江戸時代
⑥6	曲石仏付双塔(五輪 塔)・磨崖連碑	曲	共有	昭和 41. 3. 23	磨崖仏 石窟内に丸彫りの像や陽刻の像 が安置される	平安時代末期～ 室町時代
⑥7	口戸磨崖仏附磨崖 五輪双塔	口戸	個人所有	昭和 44. 3. 22	宇佐八幡宮と関連ある磨崖仏	鎌倉時代末期～ 室町時代
⑥8	毛利空桑旧宅及び 塾跡	鶴崎	大分市	昭和 45. 3. 31	空桑私宅「天勝堂」塾「知来館」 安政 4 年(1857) 一緒に建設 遺品館に遺品陳列	江戸時代
⑥9	岩屋寺石仏	古国府	円寿寺	昭和 45. 3. 31	国指定解除物件	鎌倉～室町時代
⑦0	参勤交代道路	今市	大分市	昭和 47. 3. 21	幅 2. 1m 長さ 660m の石畳	江戸時代
⑦1	蓬萊山古墳	庄ノ原	共有	昭和 56. 3. 31	前方後円墳 全長 60m	古墳時代前期
⑦2	毛利空桑墓	常行	共有	昭和 62. 6. 29	墓碑「日本国儒者毛利到墓」と大書 陰刻 昭和 36. 3. 14 指定後地番誤記判明昭和 62. 6. 29 再指定	江戸時代
⑦3	小牧山古墳群	松岡	大分市	平成 23. 2. 29	方墳 3 円墳 2 前方後円墳 1 保存状態良好	古墳時代

ウ 記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財

番号	名称または物件	所在地	所有者 または 管理団体	指定年月日	摘要	参考
⑦4	賀来神社卯酉の神事	賀来	共有	昭和 33. 3. 25	記録保存の措置を講ずべきものとして選択 「賀来の市」	
⑦5	鶴崎踊	鶴崎	鶴崎おどり 保存会	昭和 56. 3. 31	記録保存の措置を講ずべきものとして選択	国選択無形民俗 文化財 市指定無形民俗 文化財

エ 天然記念物

番号	名称または物件	所在地	所有者 または 管理団体	指定年月日	摘要	参考
⑦6	高島のピロウ自生地	高島	大分市	昭和 30. 5. 27	1 株	
⑦7	高島のウミネコ営巣地	高島	大分市	昭和 30. 5. 27	400 羽程度 5 月～8 月中旬に営巣	

灰色の網掛けは分布図に表示していない

大分市にある市指定文化財一覧

ア 有形文化財

番号	名称または物件	所在地	所有者 または 管理団体	指定年月日	摘要	参考
①	熊野権現縁起絵巻	津守	熊野神社	昭和 49. 1. 9	松平忠直の遺品 全 13 巻 (熊野神社)	江戸時代
②	神庫	寒田	西寒多神社	昭和 49. 1. 9	校倉造 応永 15 年 (1408) 明治 19 年改修 (西寒多神社境内)	室町時代
③	鳥居	王子町	王子神社	昭和 49. 1. 9	寛政 8 年 (1796) 2 月建立 (王子神社境内)	江戸時代
④	刀 (大・小)	府内町	個人所有	昭和 49. 1. 9	毛利空桑所持刀 刀 長さ 89. 5cm 脇差 長さ 59. 0cm	刀 室町時代 脇指 江戸時代
⑤	刀	大分市 歴史資料館	大分市	昭和 49. 1. 9	銘 表 豊府家士神弧丸盛利行年七十才作 裏 天保 9 年 (1838) 戊戌 2 月■日 任望角幸安鍛	江戸時代
⑥	円寿寺相伝文書及び大友資料	上野丘	円寿寺	昭和 51. 8. 24	開基道勇置文以下 15 件内 大友関係資料 1 巻 12 通	鎌倉～室町時代
⑦	大般若経本附納函	大分県立 先哲史料館	円寿寺	昭和 51. 8. 24	寛正 4 年 (1463) 寄進	室町時代
⑧	御城下絵図	大分市 歴史資料館	大分市	昭和 56. 8. 1	府内藩主が府内城下から「浜の市」を見物に行く行列を中心に絵巻物仕立てで描いたもの	江戸時代
⑨	十一面観音立像	国分	国分寺	昭和 56. 8. 1	桜材 寄木造 像高 106. 2cm 藤原仏の特徴	平安時代後期
⑩	万寿寺石造国東塔	金池町	万寿寺	昭和 56. 8. 1	国東地方に発達した宝塔の一種	鎌倉時代
⑪	波奈之丸屏風 (厳島神社図)	大分市 歴史資料館	個人所有	平成 2. 7. 16	御座船波奈之丸に置かれた屏風	江戸時代前期
⑫	熊本藩船鶴崎入港船絵馬	東鶴崎	劔八幡社	平成 3. 3. 27	熊本藩の参勤交代船の様を描いた絵馬 [寛政 10 年 (1798)]	江戸時代
⑬	岡藩船三佐入港船絵馬	三佐	野坂神社	平成 3. 3. 27	岡藩の参勤交代船の様を描いた絵馬 [文化 10 年 (1813)]	江戸時代
⑭	府内藩校遊焉館絵図	大分市 歴史資料館	弥栄神社	平成 6. 2. 28	遊焉館の学習風景を描いた絵図	江戸時代末期
⑮	帆足本家酒造蔵	中戸次	大分市	平成 11. 3. 23	酒造過程のわかる木造建築物	明治～大正時代
⑯	刀	森町	個人所有	平成 16. 3. 31	銘 表 豊後国高田住次右衛門藤原統行 裏 明暦元年 (1655) 九月吉日	江戸時代初期
⑰	刀	永興	個人所有	平成 16. 3. 31	銘 表 長谷部國重 相伝の名門の一派 「府内國重」とも呼ばれる	室町時代後期
⑱	木造宝冠釈迦如来座像	太 田	個人所有	平成 17. 3. 31	桧材 寄木造 像高 68. 5cm	南北朝時代
⑲	木造毘沙門天立像	恵 良	西福寺	平成 17. 3. 31	桧材 寄木造 像高 65cm	江戸時代前半
⑳	木造薬師三尊立像	本 町	福城寺	平成 17. 3. 31	桧材 一木彫成	室町時代前半
㉑	銅造観音菩薩立像	今 市	安楽寺	平成 17. 3. 31	銅製の像 像高 26. 2cm 懸仏	鎌倉時代後半
㉒	丸山八幡神社楼門	今 市	丸山八幡神社	平成 17. 3. 31	享保 5 年 (1720) 入母屋造 3 回修理	江戸時代
㉓	木造地藏菩薩立像 (愛宕地藏)	本神崎	八幡神社	平成 17. 3. 31	像高 96. 8cm、台高 36. 5cm 材質檜 寄木造	江戸時代初期
㉔	大平文書	大平	個人所有	平成 17. 3. 31	数少ない肥後細川藩領の地方文書 近世文書と近代文書に二大別される	江戸～明治時代
㉕	若林文書・系図	一尺屋	個人所有	平成 17. 3. 31	大友氏の水軍として活躍した若林家の文書 国立歴史民俗博物館所蔵若林文書と兄弟文書	戦国時代

番号	名称または物件	所在地	所有者 または 管理団体	指定年月日	摘要	参考
②⑥	早吸日女神社石鳥居	佐賀関	早吸日女神社	平成 17. 9. 27	寛永 17 年 (1640) 6 月の刻銘 熊本藩主細川忠利の寄進	江戸時代初期
②⑦	早吸日女神社神楽殿	佐賀関	早吸日女神社	平成 17. 9. 27	文政 10 年 (1827) 以降 元の半分の規模で現在地に移築 大正 4 年改築 切妻造本瓦葺	江戸時代後期
②⑧	早吸日女神社拝殿	佐賀関	早吸日女神社	平成 17. 9. 27	宝暦 13 年 (1763) 6 月細川重賢建立 嘉永 3 年 (1850) 改修 入母屋造本瓦葺	江戸時代中期
②⑨	熊本藩船佐賀関入港船絵馬	佐賀関	早吸日女神社	平成 17. 9. 27	藩主が参勤交代時に座乗する御座船の図で、描写法や画材などから江戸末期の作	江戸時代末期
③⑩	西谷橋	大平	大分市	平成 17. 9. 27	文政 7 年 (1824) 甲申 3 月臼杵大野の石工新左エ門・友蔵によって構築架橋	江戸時代後期
③⑪	西福寺宝篋印塔	恵良	西福寺	平成 17. 3. 31	宝篋印陀羅尼経を納めた供養塔 総高 258. 5cm	室町時代
③⑫	福城寺逆修石幢	本町	福城寺	平成 17. 3. 31	大永 6 年 (1526) の銘	戦国時代
③⑬	福城寺宝塔	本町	福城寺	平成 17. 3. 31	総高 244. 5cm	南北朝時代後半
③⑭	山の川石造宝塔・宝篋印塔	入蔵	個人所有	平成 17. 3. 31	どちらも溶結凝灰岩製	室町時代前半
③⑮	摺石幢	摺	個人所有	平成 17. 3. 31	総高 226cm 八角形	戦国時代
③⑯	原村石幢	原村	個人所有	平成 17. 3. 31	安山岩製 総高 269cm	室町時代後半
③⑰	地福寺宝塔	福宗	地福寺	平成 17. 3. 31	2 基並立 向かって右 184cm 左 176cm	室町時代中期
③⑱	地福寺石幢	福宗	地福寺	平成 17. 3. 31	明和 8 年 (1771) の銘 凝灰岩製	江戸時代中期
③⑲	永富家逆修碑 (3 基)	新町	個人所有	平成 17. 3. 31	生前に供養する供養石塔 慶長 5 年 (1600) の銘	安土桃山時代末期
④⑩	宝泉寺大乘妙典一字一石塔	竹屋	個人所有	平成 17. 3. 31	総高 215cm 享保 12 年 (1727) の銘	江戸時代
④⑪	靈山寺 山門	岡川	靈山寺	平成 19. 8. 12	木造・銅板葺・三間一戸二重門 禅宗様の特徴が表れている 古文書より寛永 15 年 (1638) 建築	江戸時代
④⑫	常楽寺文書	岡川	常楽寺	平成 19. 8. 12	大友松野家系図 大友歴代の記載が豊富 少式頼尚施行状写・毛利輝元書状写 政治状況	中世～近世
④⑬	光西寺真宗関係資料	末広町	光西寺	平成 19. 8. 12	六字名号・親鸞聖人像・方便法身像・親鸞聖人絵伝 六字名号は蓮如真筆	室町～江戸時代
④⑭	水分神社銅鉢	横尾	水分神社	平成 20. 12. 4	完形品と残欠 2 個 精巧な鑄上がりで埋納されていた 北部九州で鑄造	弥生時代中期末～ 弥生時代後期前
④⑮	伝岩屋遺跡出土石戈	大分市歴史資料館	個人所有	平成 20. 12. 4	石戈 遠賀川流域で製作された可能性	弥生時代中期
④⑯	勝光寺華南三彩貼花文五耳壺	大分市歴史資料館	勝光寺	平成 21. 12. 16	深い光沢のある緑色を基調とした優品	安土桃山時代
④⑰	大分市内出土青銅破鏡	大分市歴史資料館埋蔵文化財センター	大分市大分県	平成 21. 12. 16	漢鏡	弥生時代後期～後期終末
④⑱	原田家宝篋印塔	福宗	個人所有	平成 22. 12. 17	総高 147cm 安山岩製 四方仏の尊影を浮き彫りにしている	室町時代
④⑲	大分市内出土青銅器	大分市歴史資料館	大分市	平成 22. 12. 17	青銅製ヤリガンナ 小銅鐸	弥生時代中期～後期
⑤⑩	「天長九年尼寺」・「尼寺」墨書土器 3 点	大分市歴史資料館	大分市	平成 23. 12. 19	豊後国分寺西側より出土 国分尼寺の位置を推定する資料	平安時代
⑤⑪	伝名辺山谷出土銅矛	大分市歴史資料館	大分市	平成 26. 3. 11	弥生中期末から後期初頭にかけて北部九州で制作されたと思われる中広形銅矛 江戸時代に大分市木田の名辺山谷より出土したとされる	弥生時代中期

番号	名称または物件	所在地	所有者 または 管理団体	指定年月日	摘要	参考
㉔	木造釈迦如来坐像	永興	臨濟寺	平成 27. 7. 3	江戸時代初期から中期にかけて活躍した大坂の仏師宮内法橋の作と考えられる	江戸時代中期
㉕	松栄神社所蔵絵図	大分市 歴史資料館	松栄神社	平成 27. 12. 25	府内城の櫓および府内藩の施設の姿を表した絵図および指図	江戸時代後期
㉖	合澤家所蔵文書	中島	個人A所有	平成 27. 12. 25	戦国時代に佐賀関一尺屋を拠点として活躍した若林水軍に関する文書	室町～明治時代
㉗	立小野区有文書	大分市 歴史資料館	立小野区	平成 29. 3. 9	江戸時代延岡藩領であった立小野村に残され伝えられた文書 隣接する村々との境界紛争を中心とし「傘連判状」が残されている	江戸～昭和時代
㉘	木造五劫思惟阿弥陀如来坐像	片島	片島下区	平成 29. 3. 9	桧材 寄木造 単純な衣文 ふくよかな童顔 15世紀の作と考えられ、全国的に造像例が少ない	室町時代
㉙	大分市出土同範銅戈	大分市 歴史資料館	大分市 住吉神社	平成 30. 12. 7	細形銅戈 「伝岩屋遺跡出土銅戈」と大在の「住吉神社所蔵銅戈」と同じ鑄型より製作された同範銅戈である	弥生時代中期
㉚	紙本著色徳生範公像	田室町	長福寺	令和 1. 12. 6	座主が豊後国黄檗宗の重要寺院であった長福寺の開基であることから、歴史的に貴重。	江戸時代
㉛	少林寺板碑	木上	少林寺	令和 1. 12. 6	銘文より貞和6年(1350)という造立年代、造立の経緯が明らかであり、歴史的に貴重。	南北朝時代

イ 史跡

番号	名称または物件	所在地	所有者 または 管理団体	指定年月日	摘要	参考
㉜	大友頼泰墓	岡川	常楽寺	昭和 49. 1. 9	五輪塔 高さ176cm 大友氏3代 延享元年(1744)以降 平成 19. 6. 4 所有者修正	江戸時代
㉝	丹生遺跡	丹生	大分市	昭和 49. 1. 9	昭和 37年～42年にかけて、6次にわたって調査	旧石器時代
㉞	滝尾百穴横穴古墳群	羽田	共有	昭和 49. 1. 9	横穴古墳群	古墳時代後期
㉟	伽藍石仏	永興	個人所有	昭和 49. 1. 9	仏像の配列に特徴あり	鎌倉～室町時代
㊱	府内城跡	荷揚町	大分市	平成 7. 2. 17	県指定部分を除く城地	江戸時代
㊲	佐藤家墓地五輪塔群	前田	個人所有	平成 17. 3. 31	材質すべて角閃石安山岩 完形 41基	戦国～江戸時代初期
㊳	鶴迫磨崖仏	太田	地福寺	平成 17. 3. 31	地藏尊「火防(ひぶせ)の地藏さま」と呼ばれる	安土桃山時代末期～江戸時代初期
㊴	鶴迫磨崖連碑	太田	個人所有	平成 17. 3. 31	15基の板碑型の碑 永禄2年(1559)の銘	室町時代末期

ウ 無形民俗文化財

番号	名称または物件	所在地	所有者 または 管理団体	指定年月日	摘要	参考
㊵	柞原太鼓	八幡	柞原太鼓 保存会	昭和 54. 6. 14	柞原八幡宮の放生会「浜の市」に起源をもつ	
㊶	深山流 伊与床神楽	端登	深山流伊与床 五柱神社 神楽社	平成 12. 6. 16	市内唯一の深山流の流れをもち、忠実に古様を伝えている	
㊷	岡倉神楽	下原	岡倉神楽社	平成 18. 3. 7	勇壮な神楽であり、活発に活動 また、伝承も計画的に行われている	明治時代～
㊸	二目川の百手まつり	横尾字二目川	二目川百手 まつり 保存会	平成 25. 1. 11	毎年1月20日に開催 畳の上での的に矢を放つ儀式「的矢の儀」 を継承している	
㊹	鶴崎踊	鶴崎	鶴崎おどり 保存会	昭和 56. 3. 31	江戸時代中期以降に発達 左衛門、猿丸太夫がある	国選択無形民俗文化財 県選択無形民俗文化財
㊺	戸次のほうちょう作り	中戸次	戸次鮑腸 保存会	平成 30. 12. 7	大分地方を代表する郷土料理「ほうちょう」の作り方を継承	

エ 無形文化財

番号	名称または物件	所在地	所有者 または 管理団体	指定年月日	摘要	参考
㉔	廻栖野の竹細工技術	廻栖野	保持者 2 名	平成 23. 12. 19	長いヒゴを使用した青物系の竹細工技術 大分県在来の古い技術	

オ 記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財

番号	名称または物件	所在地	所有者 または 管理団体	指定年月日	摘要	参考
㉕	羽田神楽	羽田	大分社	平成 17. 9. 27	昭和 45 年創立と新しいが、庄内神楽の 流れをくみ伝承に熱心に取り組んでいる (選択)	昭和 45 年(1970) ～

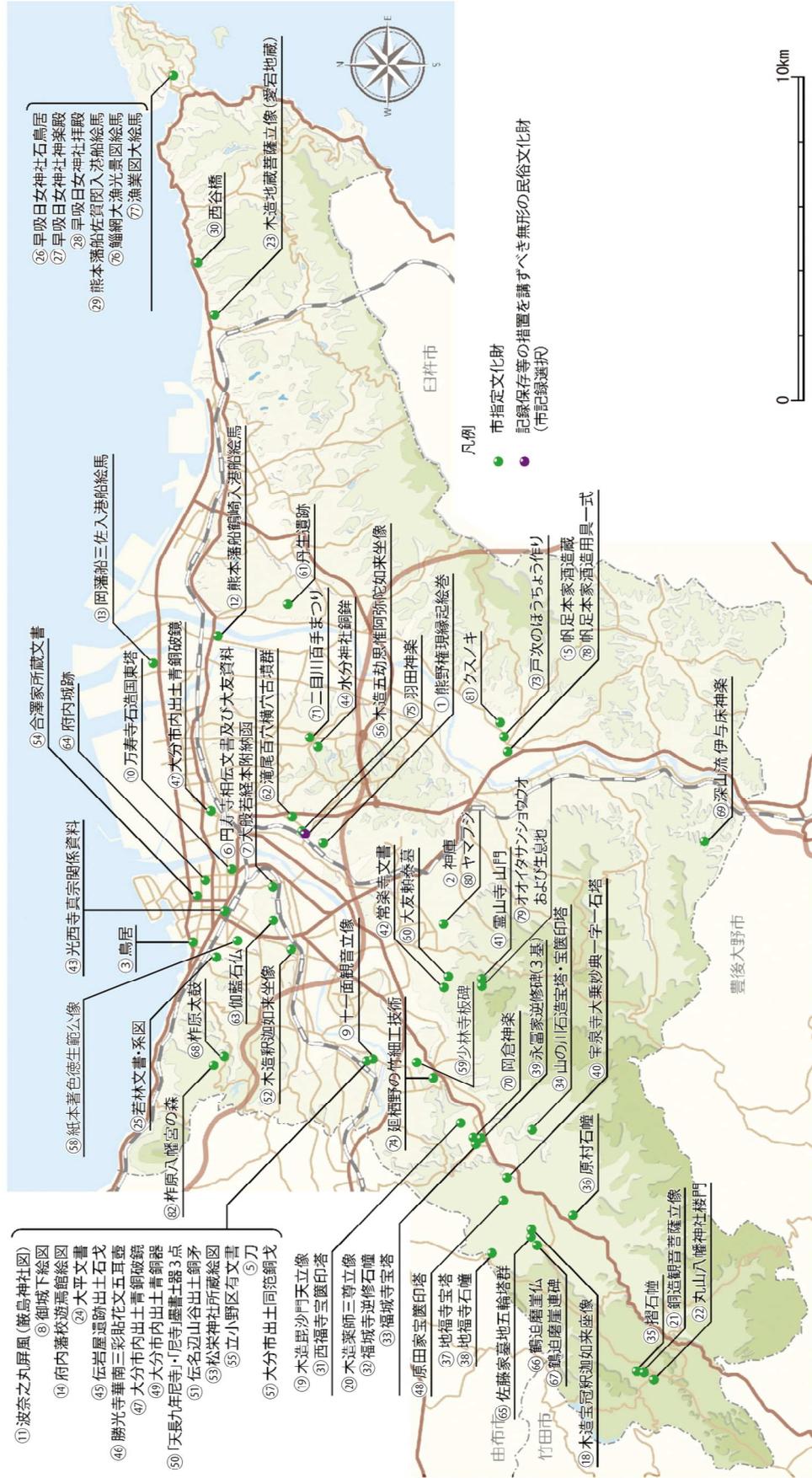
カ 有形民俗文化財

番号	名称または物件	所在地	所有者 または 管理団体	指定年月日	摘要	参考
㉖	鱈網大漁光景図絵馬	佐賀関	早吸日女神社	平成 17. 9. 27	明治 45 年に奉納された漁撈絵馬で当時 の鱈網漁の様子が詳細に描かれている	明治時代
㉗	漁業図大絵馬	佐賀関	早吸日女神社	平成 17. 9. 27	明治 35 年に奉納された漁撈絵馬で珊瑚 樹採取の船団を描写している	明治時代
㉘	帆足本家酒造 用具一式	中戸次	大分市	平成 17. 9. 27	多くの酒造用具が残され、それらは伝統 的な民具で構成されている (342 点) 平成 19. 2. 8 大分市へ寄付	江戸時代末期～ 昭和 47 年(1972)

キ 天然記念物

番号	名称または物件	所在地	所有者 または 管理団体	指定年月日	摘要	参考
㉙	オオイタサンショウ ウオおよび生息地	岡川	霊山寺	昭和 49. 1. 9	希少種とされている (霊山寺境内)	
㊀	ヤマフジ	寒田	西寒多神社	昭和 49. 1. 9	枝張り 東西約 24m 南北約 5m の範囲 で広がる (西寒多神社境内)	
㊁	クスノキ	下戸次	八幡神社	昭和 49. 1. 9	高さ約 20m 樹冠の広がり東西約 33m 南 北 45m (八幡社境内)	
㊂	柞原八幡宮の森	八幡	柞原八幡宮	平成 2. 9. 12	自然林の残存林 柞原八幡宮境内林	

灰色の網掛けは分布図に表示していない



市指定文化財の分布

歴史的風致維持向上計画の変更について

変更回数	変更年月	変更内容	ページ
第1回	令和3年3月	<ul style="list-style-type: none"> ・計画内の文章を一部修正(読み仮名) ・法定協議会の名称変更 ・支援事業、事業期間の変更 	P.120・124
			P.187
			P.212~230
第2回	令和4年6月	<ul style="list-style-type: none"> ・計画内の文章を一部修正(指定文化財の件数) ・事業期間の修正 ・事業概要の追記 ・指定文化財の一覧・分布を修正 	P.206
			P.213~227
			P.227
			P.246~258

大分市歴史的風致維持向上計画

発行：令和元年6月

変更：令和4年6月

編集：大分市都市計画部都市計画課

教育委員会教育部文化財課

〒870-8540 大分市荷揚町2番31号

□都市計画課

TEL：097-537-5967

FAX：097-536-7719

E-mail：tokei4@city.oita.oita.jp

□文化財課

TEL：097-534-6111

FAX：097-536-0435



「天保国絵図 豊後国」(国立公文書館所蔵)より